

短歌

恋人の聖地 宇多津町
平成相聞歌(そうもんか) ~メールで恋の歌を~

副賞

10
万円

前回

7926
点

原稿

80字
以内

2018
11/11

恋する気持ちに形式はない

「恋人の聖地」に認定された香川県宇多津町が、恋人や愛する人への想いを形式にとらわれず表現する「平成相聞歌」を募集。ぜひ熱い胸のうちを言葉にしよう。(ふ)

ヒント 前回入賞作品から

[最優秀賞]

片恋のピアス海色春疾風

[優秀賞](3点)

- ・天高し手紙のように渡すガム
- ・瀬戸の海の 寄せては返す 白浪に 浮かぶは恋ひし 君の面影
- ・毒りんごのような君の指に触れ じわじわ恋を腐らせていく

応募要項 《詳細はWEB参照》

●内容 / 「恋」をテーマとした相聞歌を募集。

短歌、俳句、川柳、詩など形式は自由。 ●

規定 / WEBで応募。字数は80字以内。応募数自由。 ●資格 / 不問 ●賞 / 最優秀賞1点=10万円、優秀賞3点=5万円、特別賞10点=1万円、四国新聞社賞5点=記念品、ほか ※1次選考通過作品には記念品を贈呈 ●発表 / 2019年1月22日 ●選考委員 / 家藤正人、田中美智子、水野ひかる

応募先 <https://www.heiseisoumonka.com/>

問合せ ☎0877-49-8007(平日9時~17時)

☎0877-49-8053(平日13時~16時)

✉koiuta@kjc.ac.jp

主催：若者が集う文化のまちうたづ実行委員会

短歌

平成独楽吟(へいせいどくらくぎん)

副賞

5
万円

前回

9801
点

入選

60
点以上

2018
11/30

(消印)

独楽(こま)のごとき遊び心を

独楽吟とは「たのしみは〜とき」形式で詠まれた52首の短歌のこと。福井に生きた幕末の歌人・橋曙覧(たちばなのあけみ)が詠んだ連作だ。テーマ短歌部門のテーマは「あの日」。作品内に「あの日」が入らなくてもOK。(畑)

ヒント 前回橋曙覧賞作品

[独楽吟部門]たのしみは異国に働く夫(つ

ま)の膝帰ればおさなの椅子になるとき

[テーマ短歌部門(テーマ:旅)]

この道がバージンロード父は娘(こ)の精霊船に寄り添って行く

応募要項

●内容 / 短歌を募集。①独楽吟部門=「たのしみは」で始まり「〜とき」で終わる短歌、②テーマ短歌部門=テーマは「あの日」。「あの日」を

題材にした短歌。 ●規定 / ハガキ、WEBで

応募。応募部門、作品(ふりがな)、〒住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、TEL、職業(学校名・学年)を明記。応募は各部門1人1点。1枚につき1点。 ●資格 / 不問 ●賞 / 橋曙覧賞各部門1点=5万円、ほか ●発表 / 2019年3月10日 ●審査員 / 市村善郎、福島泰樹、橋谷桂子、佐孝石画、足立尚計、加賀要子、喜多昭夫

応募先 〒918-8007福井市足羽1-6-34 福井市橋曙覧記念文学館内 公益財団法人歴史のみえるまちづくり協会「平成独楽吟」募集係

<http://www.city.fukui.lg.jp/kankou/bunka/sinkou/p002470.html>

問合せ ☎0776-35-0855

主催：福井市/歴史のみえるまちづくり協会

短歌

荒城の月短歌大会 作品募集

副賞

記念品

前回

3338
点

入選

50
点以上

2019
1/11

(必着)

竹田市の歴史にあなたの一首を

大分県竹田市は、作曲家・瀧廉太郎ゆかりの地である。氏の代表作「荒城の月」は、少年時代に荒廃した城跡(岡城址)で遊んだ体験から着想を得たともいわれている。本公募は、竹田市の歴史・文化を継承していく取り組みとして開催。過去の作品を参考に、今を生きる短歌を詠んでみよう。(知)

ヒント 前回最優秀賞作品(一般の部)

[題詠「木・樹木」]百年ののちに風吹く木よ 育てまだ見ぬ君へカエデを植える

[自由題]妹の義手に触れればひんやりと伝わるそれが彼女のぬくもり

応募要項

●内容 / 短歌を募集。テーマ①題詠「花」。「花」の漢字を入れること。読み方は不問。

②自由題。①一般の部、②高校生の部、③小中学生の部。 ●規定 / ハガキ、封書、メール、WEBで応募。作品、〒住所、氏名(ふりがな)、年齢、TELを明記。応募用紙をWEBから入手可。1人各テーマ2点以内。 ●資格 / ①不問、②高校生、③小中学生 ●賞 / ①②③テーマごとに最優秀賞1点=記念品、ほか ●発表 / 2019年2月中旬

応募先 〒878-0024大分県竹田市大字玉来1-1 竹田市役所 文化政策課「荒城の月短歌大会」担当 ✉bunka@city.taketa.lg.jp

<http://www.taketa-city.com/tanka/>

問合せ ☎0974-63-4837 主催：竹田市

短歌

和歌の浦短歌賞

副賞

10
万円

前回

約600
点

入選

20
点以上

2019
2/28

(消印)

万葉の時代から現代に続く和歌の心

昨年日本遺産に指定された和歌山県の和歌の浦。その絶景は万葉の時代から和歌に歌われてきた。さて、現代の私たちはどんな思いを詠む? 和歌の心は今も生きている。(祐)

ヒント 前回和歌の浦大賞作品

群鳥と潮の満ち干の成す綾にわたしもゆっくり織り込まれてゆく

応募要項

●内容 / 短歌を募集。①自由詠部門、②「和歌の浦」部門。 ●規定 / ハガキ、封書、WEBで応募。ハガキ裏面に作品、表面に本名、筆名、振込名(カタカナ)、〒住所、TEL、メールアドレス(あれば)を明記。封書はA4判用紙か、応募用紙(WEB入手可)を使用。作品には番号をふる。応募は1人10点以内。ハガキは1枚3点以内、

封書は1枚10点以内。 ●投稿料 / 1点200円(振込先: ①ゆうちょ銀行 14730-19442921 シヤ)キシュウブンゲイシンコウキョウカイ、②住信SBIネット銀行 法人第一支店 普通 1200945 一般社団法人紀州文芸振興協会 シヤ)キシュウブンゲイシンコウキョウカイ) ●資格 / 不問 ●賞 / 和歌の浦大賞1点=10万円、ほか ●発表 / 2019年5月中

応募先 〒641-0025和歌山市和歌浦中3-5-10 和歌の浦短歌賞 投稿係 <https://www.wakaura-tanka.com/entry/>

問合せ ☎073-422-6120 主催：和歌の浦短歌賞委員会